

こたえと説明

こんな国語の知識や技能が必要だ！

報告するために文章の必要な中身を正しく読み取る力【読む】

決まったことを放送するために、書く材料を集める力【書く】

書く(伝える)順序を考えて文を構成する力【書く】
[活動名→期日→内容→お願い]という順序

読み取ったことをまとめたり、分けたりして報告する文章を書く力【書く】

学校放送に合う言葉づかいで話す力【話す・聞く】

和語、漢語などの区別について知っている【言語】

話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる【言語】

いろんな力が
必要だね。



相手や目的によって、
上の力を上手に使う必要があるぞ！

代表委員会で決まったことを伝えることが目的だから
→メモの内容を確実に押さえる。

伝える相手が全校の子どもたちだから
→低学年の子には漢語の「期日」「決定」「報告」などは
難しいので言い換える。

学校放送で話すための原稿だから
→学校放送の言い回し、報告の仕方を取り入れて話す

全校児童に向けた放送だから
→敬体(です。ます。)で、丁寧な言葉づかいをする。

【こたえの例】

全校のみなさんに、代表委員会で決まったことをお知らせをします。

来月行われる歌声集会は七月三日水曜日の三〜四時間目に行います。

場所は体育館で、それぞれの学級から歌や楽器の演奏の発表を行ってまいります。

発表の時間は五分間です。

また、全校のみんなで歌う歌はピリープになりました。

どちらもこれから練習してほしいと思います。

学級の発表の曲が決まったら、六月三〇日までに中山先生に知らせるようにしてください。

最後にお願いをします。発表の順番を決めるくじ引きを明日の昼休みに行います。

学級から一人、図書室に来るようにしてください。

これで、歌声集会についてのお知らせを終わります。

答えの文は例です。答え
の視点で確かめながら自
分が書いた文を読んでみ
ましょうね。



こたえの視点

- ① 「決定したことメモ」の内容を落とさずに書いているか。
- ② 話し言葉(ます。ました。など)を使っているか。
- ③ 放送で使う言葉(最初と最後の文など)を使っているか。
- ④ 難しい言葉を低学年にも分かるような言葉に変えているか。